

令和4年度 第1回倉敷科学センター協議会 議事録

【日 時】令和4年8月26日（金）18：30～21：15

【会 場】科学センター実験実習室及びプラネタリウム

【出席委員】尾崎委員、山田委員、箕口委員、中原委員、福田委員、片岡委員、原委員、
荻野委員、岡本委員

【欠席委員】平松委員

【事務局】早瀬教育次長、三宅部長、島田参事、藤田館長、三島主幹、石井主任、西村主任

【傍聴者】1人

1 開会

(1) 挨拶

【事務局】お揃いのようなので、ただいまから、令和4年度第1回倉敷科学センター協議会を開催いたします。

私は、倉敷科学センター館長の藤田と申します。本日は全体の進行をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず会議の成立についてですが、倉敷科学センター条例施行規則第10条第6項の規定により、委員の半数以上の出席をもって成立いたします。今日現在、委員は10名の方に委嘱しておりまして、ただいま8名出席されていますので、会議は成立しております。

なお会議は原則公開ということで、本日は傍聴者が1名いらっしゃいます。

それでは、お手元にお配りしております協議会要項に従って進めて参ります。まず、会議に先立ち、教育委員会を代表いたしまして、早瀬教育次長が御挨拶申し上げます。

【教育次長】失礼いたします。4月から教育次長を拝命いたしております、早瀬と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆様方には、まだまだ大変暑い中、協議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より倉敷科学センターの運営につきまして、御理解と御支援をたまわりまして、厚くお礼申し上げます。

現在、まだ新型コロナウイルスの感染症、全国的にも、また本市におきましても、高止まりが続いているという状況でございます。科学センターではプラネタリウム、そして展示室の利用を一部制限、またイベントなども中止を余儀なくされたり、人数を絞ってある程度規模を縮小したり、などの対応が続いております。まだまだ感染症の終息が見えていない状況でございますが、さまざまな工夫、感染症対策を行いまして、市民の皆様安心して御利用いただけますように、これからも頑張ってお参りたいと考えております。

本日は、本年度の11月と3月に上映開始する全天周映画の番組の選考を御協議いただくとともに、昨年度の事業実績と本年度の事業計画を御報告させていただきたいと考えております。委員の皆様には、少しお時間がかかりますけれども、科学センターの運営について、忌憚のない御意見をたまわりますよう、よろしくお願いいたします。

(2) 委員紹介 (名簿順に自己紹介)

※平松委員の欠席及び尾崎委員が15分程度遅れることを事務局から伝達

(3) 事務局紹介 (自己紹介)

2 諮問

【事務局】 本日御協議いただく事業計画について、諮問させていただきます。コロナ禍という状況でもあり、諮問書については箕口会長に既にお渡ししておりますが、内容としてはお手元のレジュメにもあるとおり、次の項目についてです。よろしくお願いいたします。

(諮問) 「令和4年11月期及び令和5年3月期全天周映画上映作品の選定について」

3 報告・協議事項

【事務局】 ここから議事進行を箕口会長さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(ここから箕口会長が議事を進行)

(1) 議事録署名人の選任

【会 長】 ありがとうございます。それでは、箕口の方から議事進行させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、本日の議事録署名人を2名選任したいと思います。いかがでしょうか。

【特に意見なし】

【会 長】 自薦がないようでしたら、私の方で指名させていただいてよろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会 長】 それでは、福田委員さんと岡本委員さんをお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会 長】 それでは、お二人の方、福田委員さんと岡本委員さん、よろしくお願いいたします。

(2) 【報告 1】「令和 3 年度事業報告について」

(3) 【報告 2】「令和 4 年度事業計画について」

【会 長】 はい。それでは議事の方を進めさせていただきます。

まずは「報告 1」の「令和 3 年度事業報告について」と併せて「報告 2」の「令和 4 年度事業計画について」ですが、これは前回 3 月の開催時に、2 月末までの実績で報告があったことですが、事務局から改めて説明をお願いします。

【事務局】 はい。報告事項についてですが、いずれも前回 3 月 5 日の協議会の場で、2 月末締め時点での状況を報告し、御承認いただいている内容のものです。

「令和 3 年度事業報告」については各種統計情報を年度末時点の数字に置き換えた上で各事業の決算見込額を記入した資料とし、「令和 4 年度事業計画」については、本年度の当初予算額を記入した資料として、それぞれ開催通知と併せて皆様にお送りし、事前に目を通していただいた上で、本日この協議会の場で御質問を伺うこととしておりました。

「資料 1－1」は月別の入館者数で、右下にあります 65,032 人が最終的な総入館者数となりました。前年度に比べて 3 千人余り増えてはいるんですが、臨時休館の期間も長かったこともあり、さほど増えてはいません。コロナ前の令和元年度と比べると 10 万人余り減っているので、相変わらず厳しい状況が続いていると感じています。

「資料 1－2」は団体利用の内訳が主な内容になりますが、3 月は団体利用がほぼありませんでしたので、説明は省略させていただきます。

(尾崎委員が到着)

【事務局】 「資料 1－3」は展示室・プラネタリウム・講座の利用者数内訳、市内小学校の児童に入学時に配付している「いきいきパスポート」の利用状況、真備図書館屋上にあります真備天体観測施設、通称たけのこ天文台の利用状況、直近 10 年間の夏休み企画展の内容と各 8 月の入館者数の推移です。

「いきいきパスポート」は、博物館や美術館の利用料が割引になる等の優待制度があり、科学センターは展示室もプラネタリウムも全天周映画もすべて無料で利用できるのも、市内児童の皆さんにはぜひ使っていただきたいと思います。

「真備天体観測施設」は、平成 30 年 7 月豪雨の影響で令和 3 年 2 月まで休館しており、令和 3 年度は通年で運営を再開した最初の年になります。科学センターと同様にコロナによる臨時休館の期間もあったわけですが、もともと施設がさほど大きくないため、一度に多くの方を受け入れることができない施設なので、まずまずの利用状況だったと思います。

「8 月の入館者数」については、毎年科学センターの利用者の多くが「夏休み企画展」を開催している 8 月に集中することから、8 月を見ればその年度の利用状況が伺えるということで挙げている資料です。令和 2 年度は企画展が実施できなかったこともあり、前年度から 8 割近く減っています。令和 3 年度は企画展を開催できましたが、8 月 20 日から臨時休館となったこともあり、思ったほどの利用者増にはつながっていなかったようです。

「資料２－１」から「資料２－３」までの「令和３年度事業報告」については、決算見込額を加えた資料になっています。「資料２－１の２」で、例年掲載していない開館日数を挙げています。例年３０６日くらいの開館日数がある施設なんですけど、コロナによる臨時休館で３分の１ほどの期間を臨時休館したことになります。

「資料３－１」、「資料３－２」の「令和４年度事業計画」については、当初予算の額が盛り込まただけで、事業計画の内容自体に変更はありません。以上です。

【会 長】ありがとうございました。ただ今説明のあった「令和３年度事業報告」及び「令和４年度事業計画」について、何か御意見・御質問はございますか。

【特に意見なし】

【会 長】特に御意見・御質問がないようですので、報告事項については、認められたということとさせていただきます。

【全員異議なし】

【会 長】それでは、次に「令和４年１１月期及び令和５年３月期全天周映画上映作品の選定」について協議するため、会場の移動をお願いいたします。

本日上映していただくのは、『眠れない夜の月』、『タートルオデッセイ バンジィひとりぼっちの冒険』、『アポロストーリー 月への挑戦』の３本で、１０分後に上映を予定しておりますので移動の方をお願いしたいと思います。

【事務局】プラネタリウムの方へ移動をお願いします。貴重品のみお持ちいただいて、荷物はそのまま部屋に置いていただいて差し支えありません。

(プラネタリウムに移動)

ープラネタリウムで全天周映画候補作品試写を鑑賞ー

(上映終了後、実験実習室に移動)

(４)【協議】令和４年１１月期及び令和５年３月期全天周映画上映作品の選定について

【会 長】それでは全天周映画上映作品について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】まずは長時間に渡り、３本の映画を御覧いただき、ありがとうございました。

資料については、資料４「全天周映画上映作品の選定について」という束を御覧ください。

まず１ページ目の「１ 上映期間」を見ていただくと、年間３本、７月と１１月と３月に新作映画を上映することとしています。今回選定していただくのは、「上映スケジュール案」に「作品①」としている今年の１１月から上映する作品と、「作品②」としている来年３月から上映する作品です。

今回上映した３本の候補作品ですが、次のページを見ていただくと、下半分に職員対象試

写のランキングを載せておまして、その上位3作品を御覧いただいたということです。

その評価の右寄りに星印を並べている部分がありますが、科学センター職員の評価として、内容が「子ども向け・ファミリー向け作品」なのか、あるいは「大人向けで科学性の高い作品」なのか、といった作品の傾向を示しています。

その次のページは、近年の上映作品の一覧です。

さらに次のページ、資料5「全天周映画の作品選定の基本的な考え方（ガイドライン）」を御覧ください。

先ほども言いましたが、年間3本、7月と11月と3月に新作を上映します。

下半分の「3 選定の目安」を御覧ください。

「(1)科学を学び楽しむという視点、あるいは教育的・福祉的な価値が認められるという視点から大きく逸脱していないこと」、「(2)ドーム全体に迫力ある映像を映し出せるという全天周映画の魅力を十分に発揮できる映像構成、映写フォーマットであること」、「(3)近隣の施設の上映実績と比較し、競争力を意識した選定が行われていることが好ましい」

それで言うと、最後に上映した『アポロストーリー 月への挑戦』は、3年前になりますが、浅口市の岡山天文博物館で上映されています。当時、(史上初めて有人月面着陸に成功した)アポロ11号の50周年ということで、それから3年経っていますが、評価が高いということで、ここで候補作品として出しています。

それから「(4)科学教育と集客両面の効果を最大に発揮させるため、年間に上映される3作品は、次の3つの資質に沿って各1作品ずつ選定されることが望ましい」ということで、今『しまじろうとおおきなき』と『恐竜超世界』を上映中ということで、これらとの組み合わせを考慮していただけたら、ということです。

これらを基に、いずれの作品が科学センターで上映する作品として相応しいか、御協議願います。以上です。

【会 長】ありがとうございます。それでは委員の皆様には御協議いただきたいと思います。どなたか、上映作品について、御意見、御質問等ございますでしょうか。

【特に自発的に発言を求める者なし】

【会 長】無いようでしたら、お一人ずつ順番に御意見、御感想等をお伺いしたいと思います。

【委 員】どの作品も楽しく観させていただきました。

最初の『眠れない夜の月』は、とてもすごく良くて、あっという間にストーリーが入ってきて、よく分からないリスが出てきて「おもしろいなあ」と思っで見入ったんです。すごくおもしろいんです。どう説明したらいいのか、説明はファンタジー、子ども向けと書いてあるんですが、大人の僕が観ても全然観られる気がしました。

2番目の『ウミガメ』のやつは、これも良くて、これは小学生からでも観られるな、と思いました。

3番目の『アポロストーリー』もおもしろくて、ただこれはちょっと、対象が中学生以上になるのかな、と感じました。

最後に説明のあった「選定の目安」を見ると、『アポロ』と『ウミガメ』は分かりやすいな、と感じたんですが、『眠れない夜の月』がよく分からない、という感想です。

【会 長】ありがとうございました。次の委員の方、お願いいたします。

【委 員】僕もいろいろと楽しかったんですけど、まず『眠れない夜の月』はファンタジーだなあということで、科学的視点からすると悩ましいところもありました。最後のところは、大人向けとしては良いんだけど、子ども向けとしては余韻が無くなっちゃうかな、と思ったところです。

2番目の『タートルオデッセイ』は、科学館的に一番分かりやすい存在でした。海の画像もきれいで、水族館よりも迫力もあっていいかな、とか、大人も子どもも楽しめそう、とか、科学的観点から言うと、海の生物とか亀の生態とか、普段知ることができないところも分かって良いかな、と。うちの大学には亀の専門家もいますので、必要だったら講演を依頼していただいたらいいのかな、と思いました。

最後、『アポロストーリー』もおもしろかったんですけど、浅口のプラネタリウムで過去に上映があったというのが引っかかってしまうかも知れないな、というところです。あと、月の探査が改めて始まるというところもありますので、話題的には再上映も有りかな、と思います。以上です。

【会 長】はい、ありがとうございます。次の委員の方、お願いいたします。

【委 員】最初の『眠れない夜の月』は、皆さん言われているようにファンタジーで、人形劇には疎いのですが、前あった『ごん』と同じ人形劇で、大人でも楽しめていいな、と思います。先の委員さんが言われたように、科学的にはいかがなものかな、というところはあるんですが、逆に言えばファンタジーと割り切ればいいのかな、と思いました。

私は生物の教員ですけど、亀の話かアポロの話か、というところなんですが、亀の話の『タートルオデッセイ』は、良いのは良いんですが、(制作者の)主観がすごく入っていて、大人的にはドラマチックに過ぎるのかな、という印象です。

個人的には『アポロ』の方が、おもしろかったかな、と思っていて。淡々としていて、割とポップな感じでリズム感があって。今回20分台の短い作品が3本そろっていて、その中で『アポロストーリー』が、観終わるまで、リズム感が良いな、と思いました。

あと、全体の更新イメージを見させていただいたときに、『ボージャー』が終わって、『しまじろうとおおきなき』と『恐竜超世界』が残って、となると、『ボージャー』のあとに宇宙物、オーソドックスですが大人向けの作品が続いて、『しまじろう』が終わって『眠れない夜の月』が入ったらいいのかな、と思ったところです。以上、感想です。

【会 長】ありがとうございます。では、次の委員の方、いかがでしょうか。

【委 員】一番初めの『眠れない夜の月』、ちょっと深めに腰かけて観たんですが、案外背景がすごくぼやけて、けっこう見にくかったのと、あと職員の方の意見として「人形がこわい」とあって、確かに・・・ちょっと、こわいなあと思い、でも最後にメイキングの映像で、人形の動かし方などを見たときに、ああ、そんな風に作っていたんだなあ、と思ったんですが・・・。

それよりも私は、あと2つの(方が)。今、水族館とかも流行っていますし、夏休みに子どもさんたちをよく連れて行ったり、ニュースとかでも出てきたりするので、そういうタイミングでは『タートルオデッセイ』も興味を持つのではないかなあ、と思いました。映像も、どの視点から見てもきれいに見えたというところは、非常に見やすいなあ、と思いました。

あと、『アポロストーリー』の方も、先ほどお話がありましたが、『ボージャー』のあとに

続いて、ということで。歴史的な映像が少し古めには感じるんですが、大人としても興味を持って観に来られるだろうし、その話を親子でしていくってところが、あってもいいのかなあ、と思いましたので、私の意見としては、あとの2つが見やすかったかな、と思いました。

【会 長】はい、ありがとうございます。では続きまして、次の委員の方、お願いします。

【委 員】3作品とも、とても楽しく観させていただきました。

自分も子どもがいるんですけど、子どもたちにどういった物を見せたいかな、と考えたときに、やはり最初の『眠れない夜の月』というのは、小さい子向きの作品なのかな、と。

科学に興味を持ってもらいたいな、と、そういう思いがあるので、どちらかと言うと、あとの『タートル』と『アポロ』が楽しく、科学的にもおもしろく観られたのかな、と思います。どちらかと言うと、『アポロストーリー』が一番楽しく、次に『タートルオデッセイ』が良かったかな、と思いました。

【会 長】はい、ありがとうございます。では、次の委員の方、いかがでしょう。

【委 員】ちょうどテレビで『アポロ』を観ている世代なので、今日は、一番おもしろく（『アポロストーリー』を）観させていただいたし、やはり3つの中では一番感動的で、意味のある物かな、と感じました。ですから、ぜひ『アポロストーリー』は推したいと思います。

あと2つですが、幼稚園の代表者でもあるし、今日の雰囲気と言うと、特に『しまじろう』との絡みで考えると、『眠れない夜の月』の方が、なんかほんわりと観られて、これもおもしろいかな、と思いました。

ですから、私としては『アポロストーリー』と『眠れない夜の月』が良いと思います。

【会 長】はい、ありがとうございます。では、次の委員の方、お願いします。

【委 員】私は3作品とも、良かったなあ、と思いました。

科学センターとしての考えもあると思いますし、順番に回ってきている同じような分野での作品というところと言うと、（『ボイジャー』のあとに）『アポロストーリー』と、『しまじろう』のあとに『眠れない夜の月』が良いのかな、と思います。

【会 長】ありがとうございました。では、最後の委員の方、お願いいたします。

【委 員】はい。今回の3作品は、すべて全天周ならではという感じがしたので、『しまじろう』のときに感じたような「これ、全天周でなくても良いんじゃないか」というような物ではなかったので（良かった）。

先ほどから何人もおっしゃっているんですけども、やはり（作品の）タイプの順番でいくと、宇宙物、子ども向け、その他、という順番で来ているので、それであれば『アポロ』が入るのかなあ、と思ったんですが、『アポロ』はCGがちょっと、けっこうごちゃごちゃしているように私には感じられたので、『HAYABUSA2』のときに感じたような感動と言うか、そういうのと比べてしまうと、やや表面をなぞっただけの内容というような。26分なので、仕方ないんですけども、そういう風には感じてしまいました。以上です。

【会 長】ありがとうございました。では、私からも感想を。

どの作品も良いなあ、と思いました。

『眠れない夜の月』は、人形アニメーションという、とても手間のかかるものを、あれだけしっかり作りこんでいましたし、月の解釈がちょっと違うと言うのか、ファンタジーと言うか、ただぼわあーとした感じがおもしろかったと思います。

『タートルオデッセイ』は、皆さん仰っていましたが、全天周で観る映像の迫力がありま

したし、物語の分かりやすさもありましたし、良かったと思います。

最後『アポロストーリー』ですが、委員さんからもありましたが、今度、月の探査が始まりますよね。今日こちらに来るときにちょうどニュースを見ていたら、日本が探査機を打ち上げるという話をちょうど見ていたところだったので、そういう時事的な物というのを取り上げていいんじゃないかと思いました。

【会 長】では、皆さんから御意見をいただきましたので、選定作品を決めていきたいんですけども、皆さん挙手していただいてよろしいでしょうか

【うなづく者多し】

【会 長】では、まず、11月から上映する「作品①」についてお伺いします。

1本目の『眠れない夜の月』が良いと思われる方。

【挙手無し】

【会 長】2本目の『タートルオデッセイ』が良いと思われる方。

【挙手無し】

【会 長】3本目の『アポロストーリー』が良いと思われる方。

【8名挙手】

【会 長】ありがとうございます。では「作品①」は、先ほど全員手が挙がりましたので、『アポロストーリー 月への挑戦』を選定することとします。

続きまして、3月から上映する「作品②」についてお伺いします。

1本目の『眠れない夜の月』が良いと思われる方。

【6名挙手】

【会 長】2本目の『タートルオデッセイ』が良いと思われる方。

【2名挙手】

【会 長】ありがとうございます。では「作品②」は、先ほど大勢の方の手が挙がりましたので、『眠れない夜の月』を選定することとします。

皆さん、よろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会 長】その他について、何か御意見等、ございますか。

【特に意見なし】

【会 長】はい、それでは本日の協議事項・報告事項のすべてを終了しました。

最後に、諮問についての答申内容の確認をいたします。

「令和4年11月期及び令和5年3月期全天周映画上映作品の選定について」は、先ほどの結論どおり、令和4年11月期に『アポロストーリー 月への挑戦』を、令和5年3月期に『眠れない夜の月』を上映作品としてそれぞれ選定するという内容で答申書を作成することとしてよろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会 長】ありがとうございます。それでは、本日協議会で議論すべき事項は、すべて終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。

(ここから事務局が進行)

【事務局】熱心に御審議をいただき、誠にありがとうございました。

事務局から一点、御連絡申し上げます。

次回第2回の協議会につきましては、来年の3月を予定しております。次回の協議事項の主な内容は、来年7月から上映開始する全天周映画の作品の選定と、来年度の夏休み企画展の選定をしていただく予定です。また時期が参りましたら日程調整の御連絡を差し上げますので、よろしくお願いいたします。

以上で、令和4年度第1回倉敷科学センター協議会を閉会いたします。

令和4年8月26日

会 長 箕口 けい子 

議事録署名人 福田 尚也 

議事録署名人 岡本 美里 